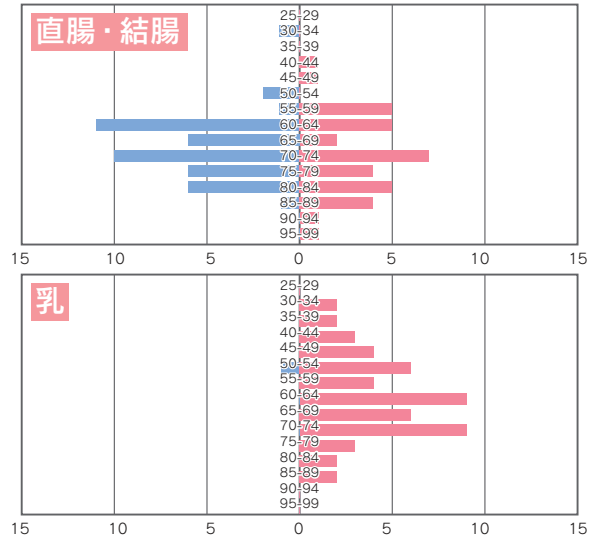
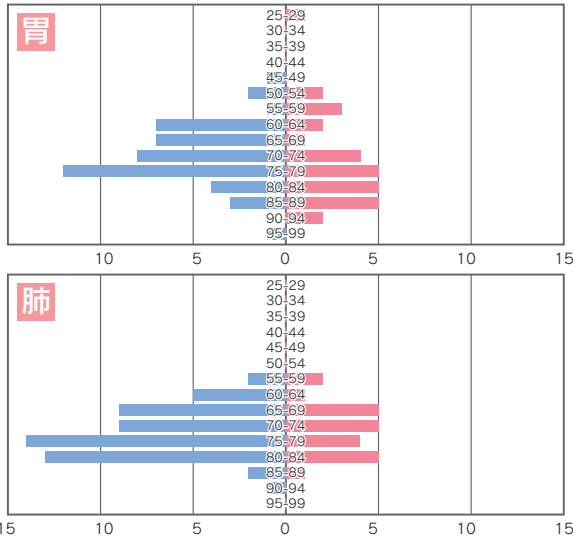


2010年 がん種別・男女別・年齢別 登録数

■男 ■女



◆ 地域別がん登録件数・割合 ◆

	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
新居浜市	342	75%	351	73%	433	74%	362	73%	378	72%	406	75%	400	77%
西条市	61	13%	70	15%	73	12%	70	14%	73	14%	59	11%	61	12%
四国中央市	45	10%	53	11%	72	12%	57	11%	65	12%	67	12%	54	10%
その他	8	2%	4	1%	8	1%	8	2%	9	2%	9	2%	3	1%
合計	456		478		586		497		525		541		518	

愛媛県緩和ケア 研修会を開催しました

がん診療部長 亀井 治 人

2月11日(土)、12日(日)に、当院主催の「愛媛県緩和ケア研修会」を新居浜市医師会館にて開催いたしました。

がんの診療における「緩和ケア」とは、がんに伴う体と心の痛みを和らげ、生活やその人らしさを大切にする考え方に沿って行なわれる様々な対応のことであり、患者様のどのような病状であっても、どのような時期にあっても積極的に受けて頂く事が望まれています。しかし、まだまだがんの進行した患者様に対するケアと誤解されており、「まだ緩和ケアを受ける時期ではない」と思い込んでしまう患者様やご家族、そして医療者も少なくありません。

国では、この「緩和ケア」を推進するために、がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画において、すべてのがん診療に関わる医師に「緩和ケア研修会」の受講を求めています。愛媛県では平成20年より県およびがん診療連携拠点病院の主催で年に8回の緩和ケア研修会が開催されていますが、平成22年からは医師以外の受講も受入れ、広く緩和ケアが浸透する事を目指しています。

今回の研修会でも、新居浜・西条、宇摩医療圏から医師16名、看護師12名、薬剤師8名、ソーシャルワーカー2名の計38名が休日を返上し、がんに伴う様々な身体症状や精神症状に関する講義、グループ単位でのロールプレイング、地域の医療連携に関するディスカッションなどの分単位で設定されたプログラムに熱心に取り組み、全員に修了証が交付されました。



グループワーク



講義風景

受講後アンケートでは「ためになった。今後のチーム医療に活かしたい」といった感想を多数いただき、これからの皆様の診療のお役に立つものと信じております。

今後も、当院はがん診療連携拠点病院の責務として緩和ケア研修会などを通じて地域のがん診療の質の向上に務めて参りたいと思います。